

# SANUS®

## VLF525壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 56kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

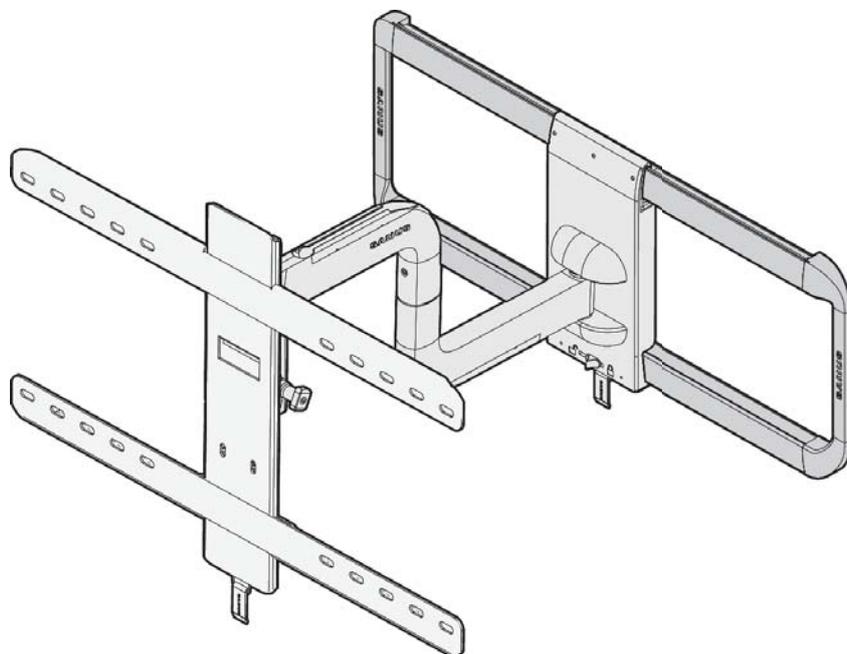
この度は、VLF525の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
VLF525は51V型～70V型の薄型テレビの取付用です。  
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは大切に保存してください。

### 本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

### 販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

## NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ  
〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16  
ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050  
<http://www.network-jpn.com/> E-mail : [info@network-jpn.com](mailto:info@network-jpn.com)

## 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



**注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

### 警告



**禁止**

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VLF525 壁掛金具は、51V型～70V型で、総重量56kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



**禁止**

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



**禁止**

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



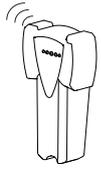
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



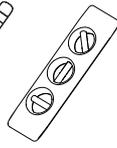
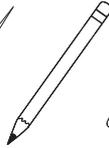
ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

**重要** 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

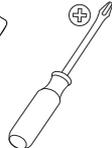
## 必要な工具類



地下センサー



水準器



メジャー



5.5 mm 木工用



10 mm コンクリート用



13 mmレンチ

## 仕様

耐荷重 : 56kg (テレビと付属品を含みます)

適応テレビサイズ : 51V型～70V型

※上記を超過しないようにして下さい。

ティルト調整

: -15°

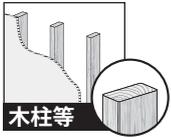
左右首振り角度

: ±90°

左右の重量バランスに違いのあるテレビを取付ける場合には、壁掛金具に取付けた後でテレビが左 (もしくは右) に少し傾くことがあります。

## 取付可能な壁面

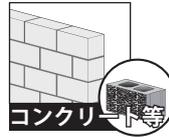
※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



木柱等

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。

★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



コンクリート等

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。

(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

## 注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。

★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。

★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。

★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。

★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

## STEP 1 で使用する部品類



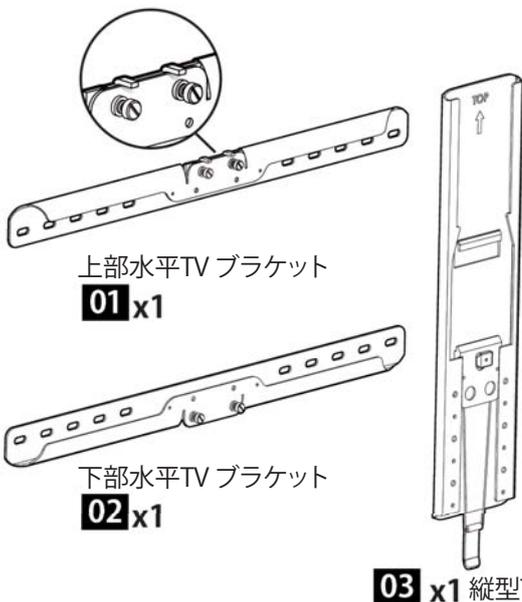
**警告** : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記 : M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。

付属の部品をすべてを使用するわけではありません。

## TV 取付けネジ類



上部水平TV ブラケット

01 x1

下部水平TV ブラケット

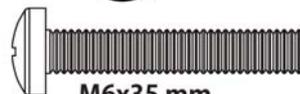
02 x1

03 x1 縦型TV ブラケット



M4x35 mm

04 x4



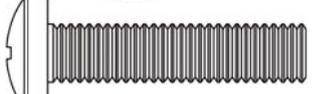
M6x35 mm

06 x4



M5x35 mm

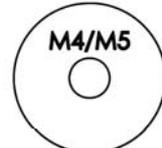
05 x4



M8x35 mm

07 x4

## TV 取付けワッシャー



M4/M5

08 x4



M6/M8

09 x4



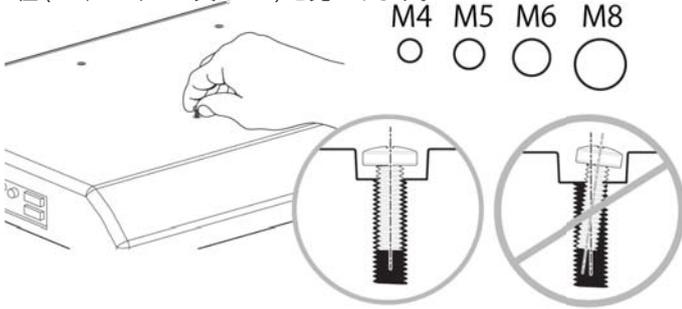
10 x4

TV取付スペーサー (22mm)

# STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

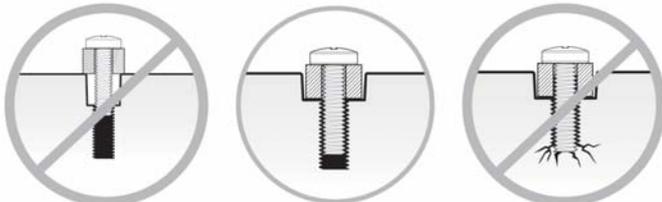
## 1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。



**注意** ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。

首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。



短すぎるネジ

適正なネジ

長すぎるネジ

**注意** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

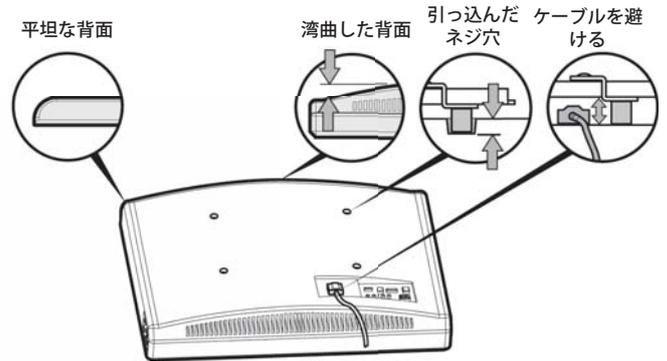
## 1-2 スペーサーの取付位置

付属のスペーサーを使う場合は下図の取付方法を確認し、状況にあった取付方法を選択してください。(TV 背面の形状や状況により、TV ブラケット取付時のスペーサーの位置を選択します。)



(ネジの長さを調整する場合)

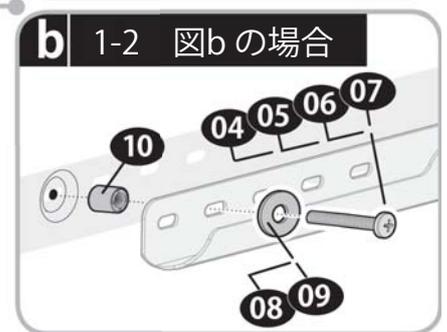
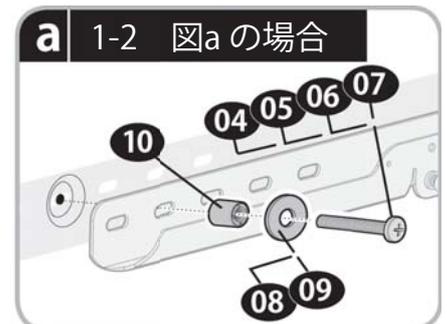
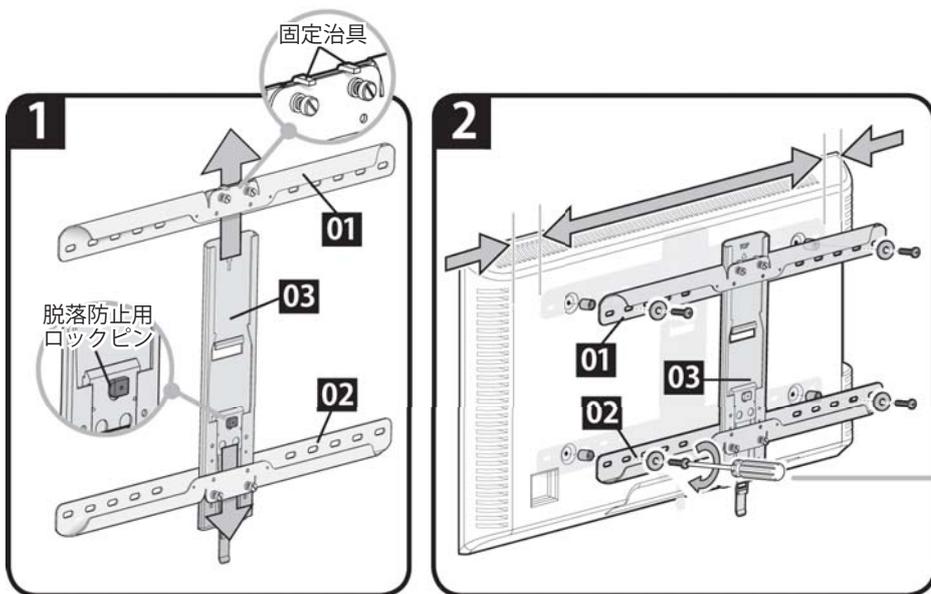
(テレビの背面が湾曲していたり、障害物があったり、取付穴が引込んでいる等の場合)



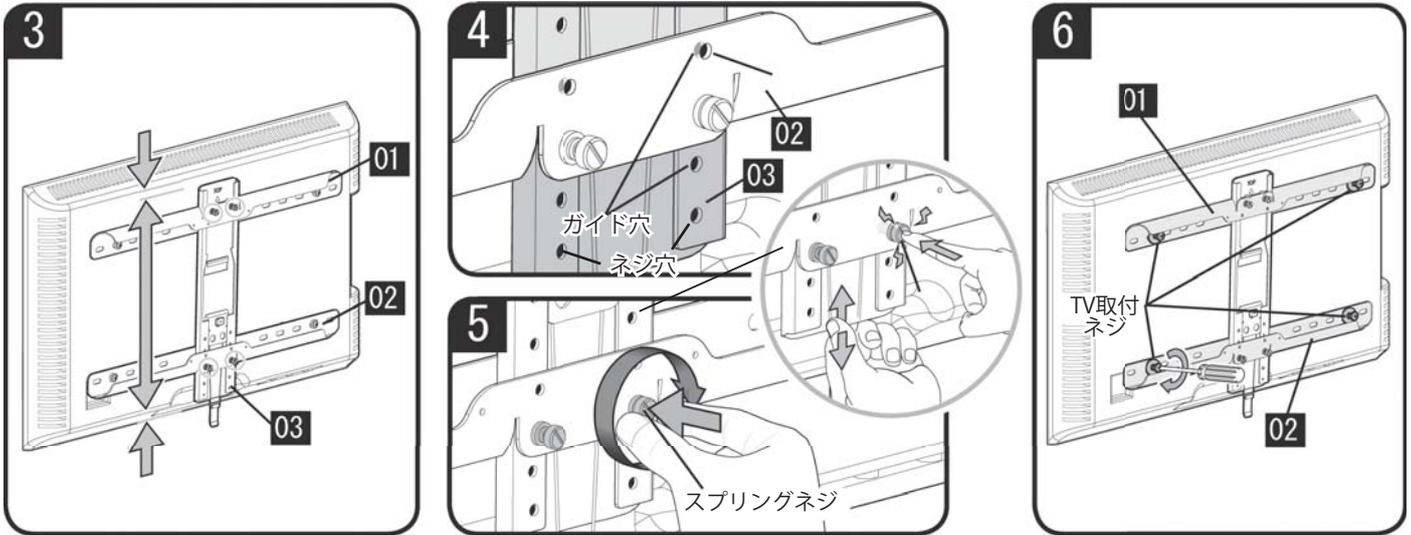
## 1-3 テレビにブラケットを取付ける

1) 次に図のように、上・下部水平 TV ブラケット [01] [02] を、縦型 TV ブラケット [03] に差し込んでおきます。このとき、縦型 TV ブラケット [03] は「脱落防止用ロックピン」の付いている方が下向きになるように差し込んでください。

2) 前項 1-1 で選択したネジと、対応するワッシャー及びスペーサーを組み合わせて、下図 (2) で組み立てた TV ブラケットをテレビ背面に取り付けます。このとき、テレビの中心に縦型 TV ブラケット [03] がくるように、水平 TV ブラケット [01][02] とテレビの壁掛金具取付用のネジ穴をあわせて、前項 1-2 で選択した取付方法でネジを差し込んで仮止めしてください。



- 3) 縦型TV ブラケット [03]がテレビ背面上下の中心に来よう調整します。
- 4) 先に下部水平TV ブラケット [02] 位置を固定します。下部水平TV ブラケット [02] のガイド穴と縦型TV ブラケット [03]のガイド穴が揃う位置を探します。(縦型TV ブラケット [03] はネジ穴とガイド穴が交互に開いています。)
- 5) 下部水平TV ブラケット [02] の片方のスプリングネジを押しながら、縦型TV ブラケット [03]を動かして、丁度の位置を探し片方を固定してからもう片方をネジ止めします。
- 6) 最後に前項(4ページ) の下図 (2) で仮止めしていた壁掛金具取付用のネジを締め付けてください。



## STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁に取り付ける場合は、6ページのSTEP 2A に従って固定します。コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページのSTEP 2B に従って固定します。

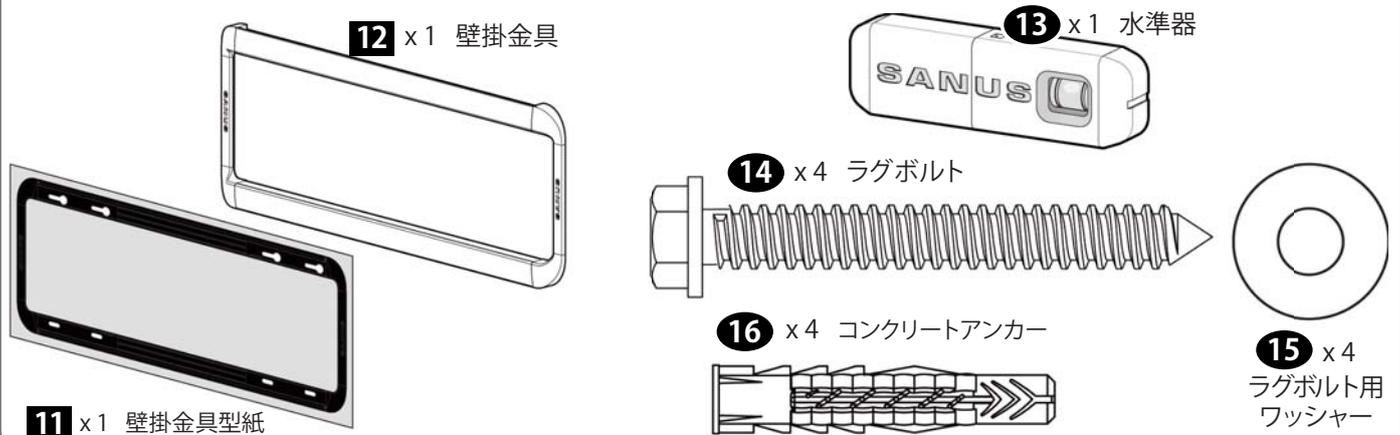
### STEP 2で使用する部品類

**警告** :本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

**警告** :水準器には磁石が含まれています。

ペースメーカーや埋め込み型除細動器 (ICD) 等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも13センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



**注記** :付属の部品をすべて使用するわけではありません。

**参考** :水準器 [13] は、水平度を確認する為にお使い下さい。海外住宅向けに内蔵の磁石で釘などの金属を探知して、柱位置を見つける機能もありますが、国内では壁面構造が異なるのでご使用頂けません。

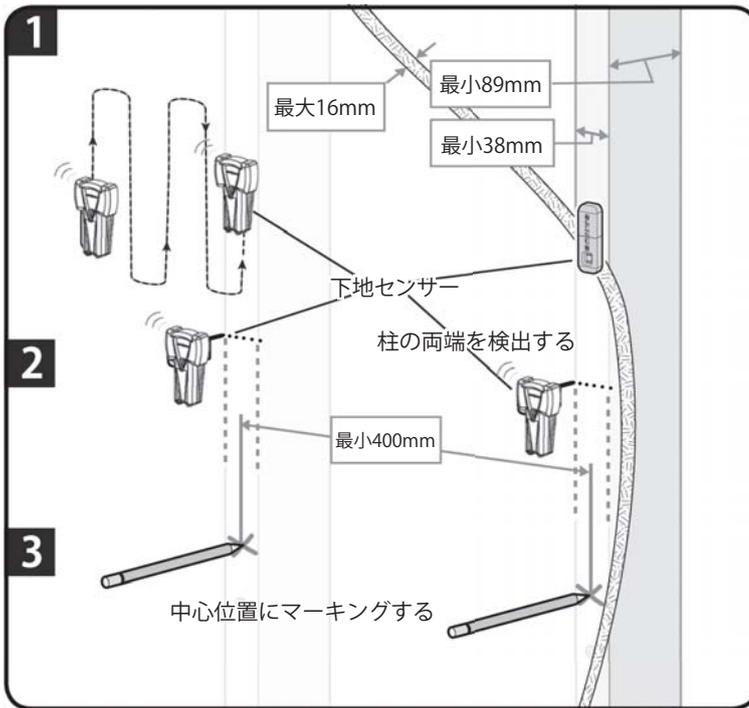
## STEP 2 A

### 壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

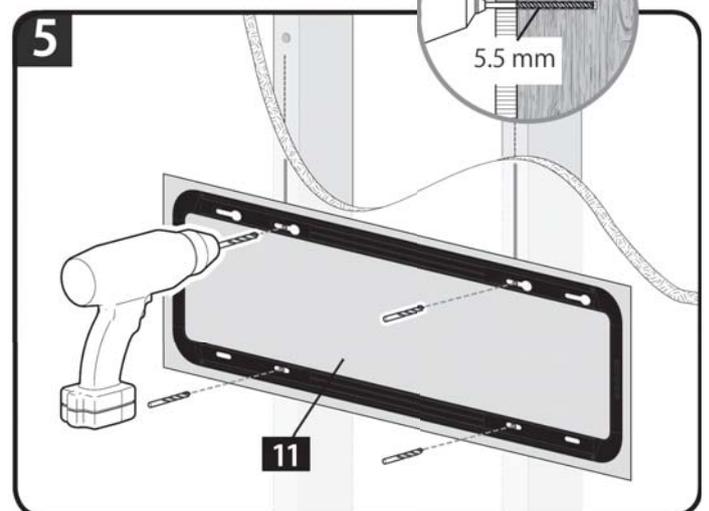
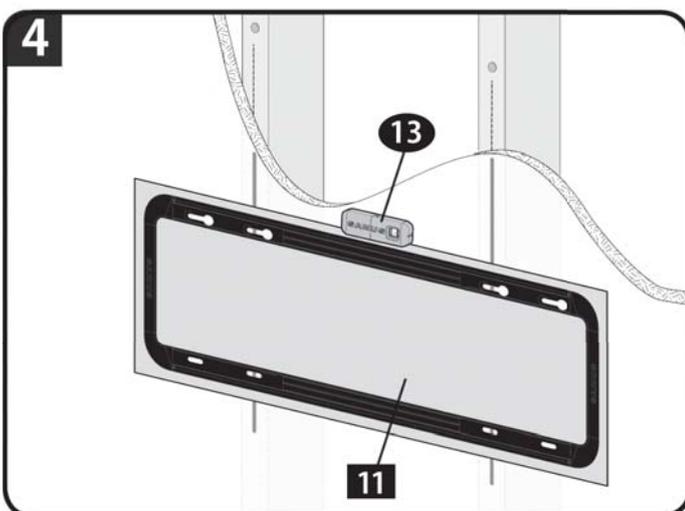
**警告:** 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。  
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

**施工の条件:** ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16mm以下にしてください。  
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm奥行き89mm以上が必要です。  
★ 柱と柱の間隔は、400mm以上空けて下さい。  
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

**注記:** 下地センサー（木柱センサー）は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。下記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。



**警告:** 水準器には、磁石が含まれています。ペースメーカーや埋め込み型除細動器（ICD）等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも13センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



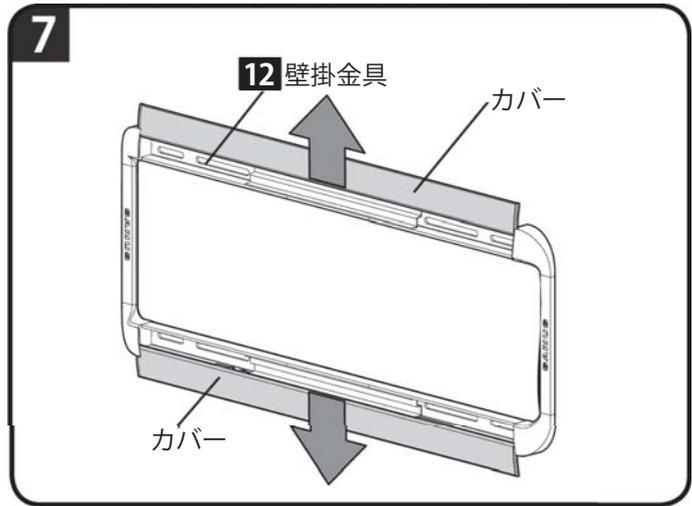
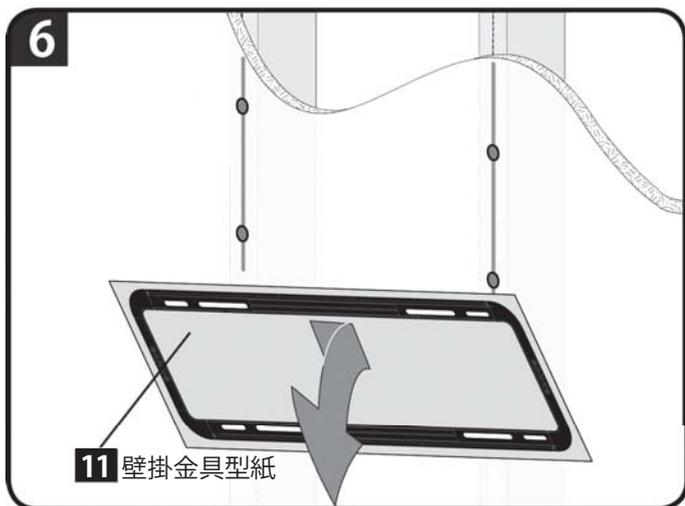
4. 壁掛金具型紙[11]をご希望の高さに置き、下穴を開ける位置が柱の中心位置に来るように位置決めします。その後、壁掛金具型紙 [11]を水準器[13]で水平度を確認しながら、テープで壁面に仮止めします。

**重要:** 下穴を開ける位置は、必ず柱の中心になるように注意して仮止めして下さい。

5. 図の位置に5.5mm径のドリルビットを使って柱の下穴を、おおよそ75mmの深さに4箇所開けます。

6. 柱から壁掛金具型紙 [11] を取り除きます。

7. 図の様に壁掛金具 [12] の上下のカバーをスライドして、取付穴が見えるようにします。

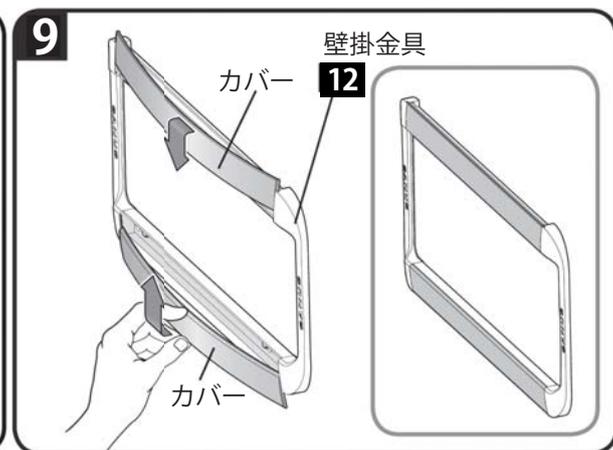
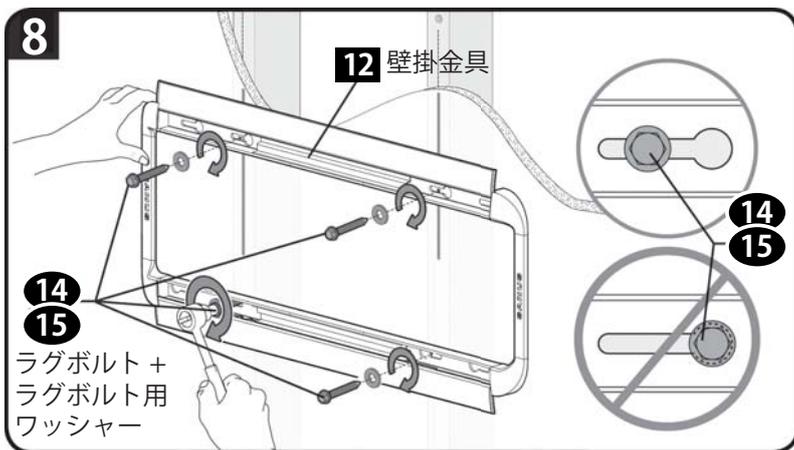


8. 前ページの (5) で開けた下穴と壁掛金具 [12] のネジ穴をあわせて、ラグボルト [14] とラグボルト用ワッシャー [15] を使用し壁掛金具 [12] を固定します。

**重要：**絶対に壁掛金具 [12] の大きい取り付け穴の部分にはラグボルトを挿入しないで下さい。

9. 図の様に上下のカバーをスライドして壁掛金具 [12] の所定の位置に収納します。

次は、9ページのSTEP3に進んで下さい。



## STEP 2 B

### コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取付例 ---

**警告：** 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

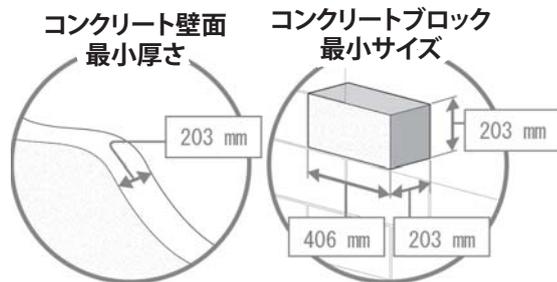
施工の条件： ★ 壁掛金具 [12] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。

★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。

★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。

(空洞のあるものには使用できません。)

★ 水平方向のネジ穴の間隔は、610mm以上空けて下さい。

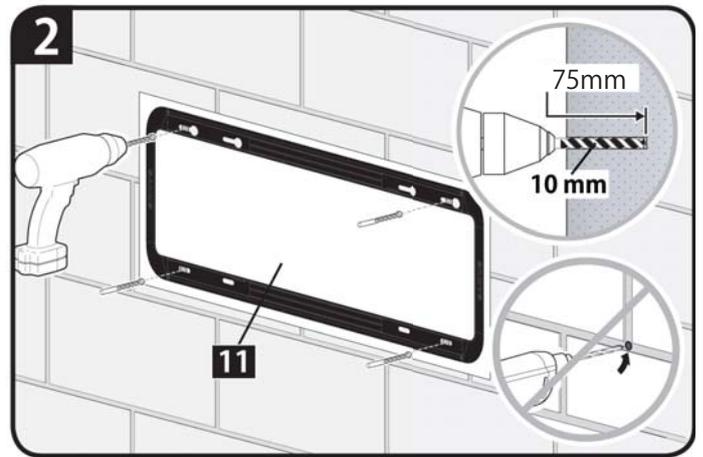
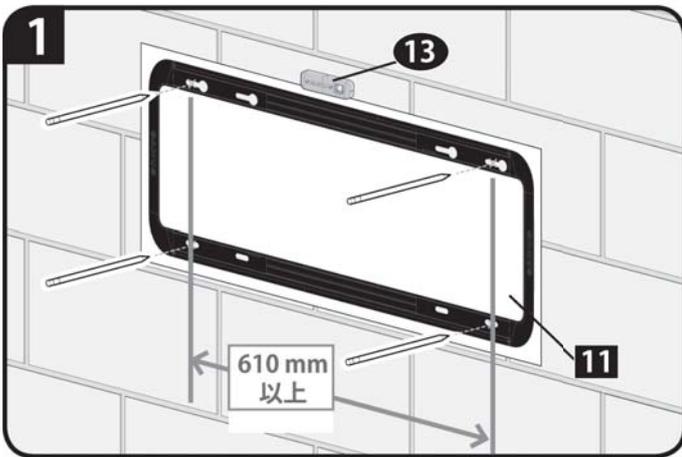


1. 図のように壁面の希望の高さに、壁掛金具型紙 [11] を配置します。壁掛金具型紙 [11] は水準器 [13] で水平を確認してから、穴位置に 4 箇所のマーキングを付けます。

**重要：**この時、水平方向のネジ穴の間隔が610mm以上開くようにしてください。

2. 下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、約75mm の深さに下穴を4 個開けます。

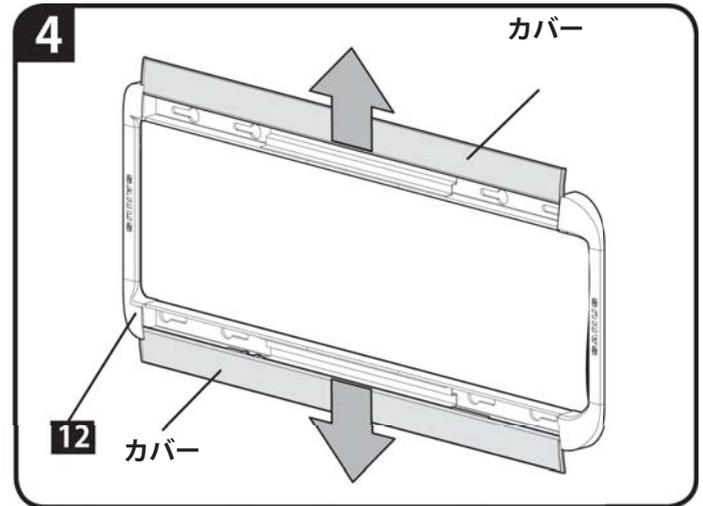
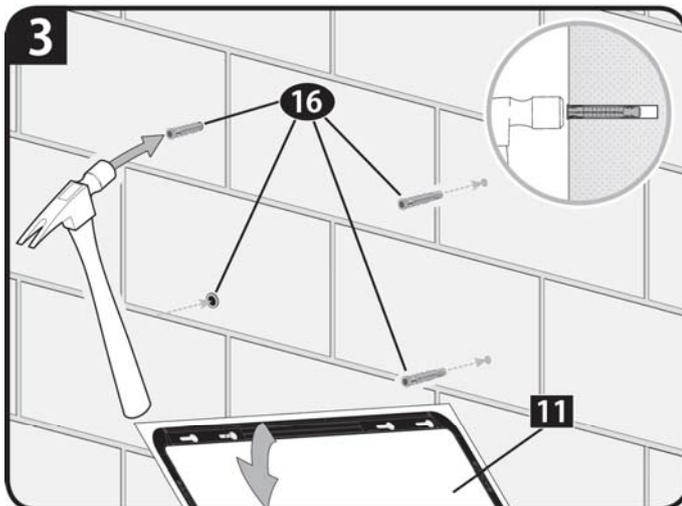
**重要：**取り付け強度が保てないので、ブロックの間のモルタル部には、ドリルで絶対穴を開けないで下さい。



3. 壁掛金具型紙 [11] を取り除き、上記で開けた下穴にコンクリートアンカー [16] を打ち込みます。

**重要：**コンクリートアンカーが壁面よりも出張らないようにしっかりと打ち込んで下さい。

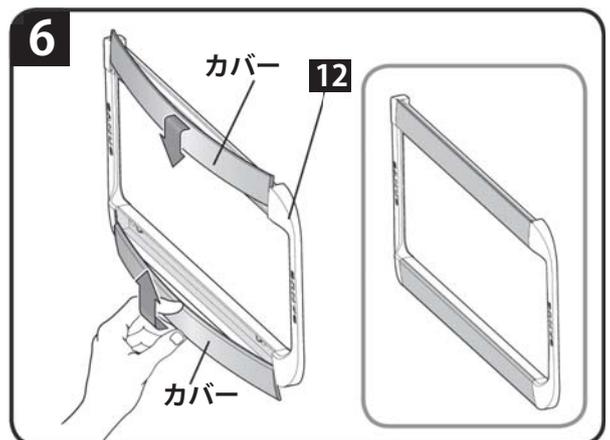
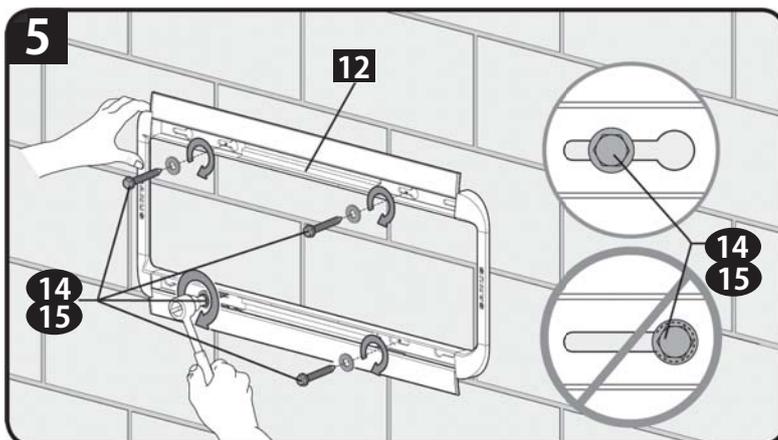
4. 図のように壁掛金具 [12] の上下のカバーをスライドして取り付け穴が見えるようにします。



5. 壁掛金具 [12] の取り付け穴に、ラグボルト用ワッシャー [15] をはめたラグボルト [14] を使用し、コンクリートアンカー [16] にねじ込んで固定します。

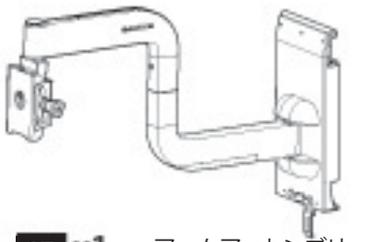
**重要：**絶対に壁掛金具 [12] の大きい取り付け穴の部分にはラグボルトを挿入しないで下さい。

6. 図の様に上下のカバーをスライドして壁掛金具 [12] の所定の位置に収納します。



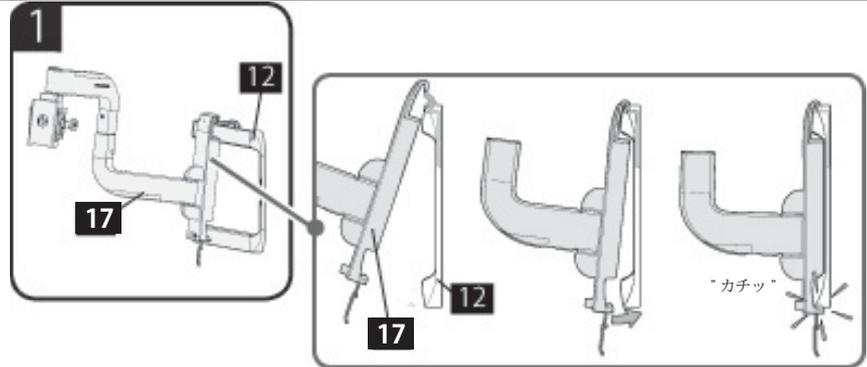
## STEP3 テレビを壁掛金具に取り付ける

### STEP3 で使用する部品類



17 x1 アームアッセンブリー

### 3-1 アームアッセンブリーを壁掛金具に取付ける

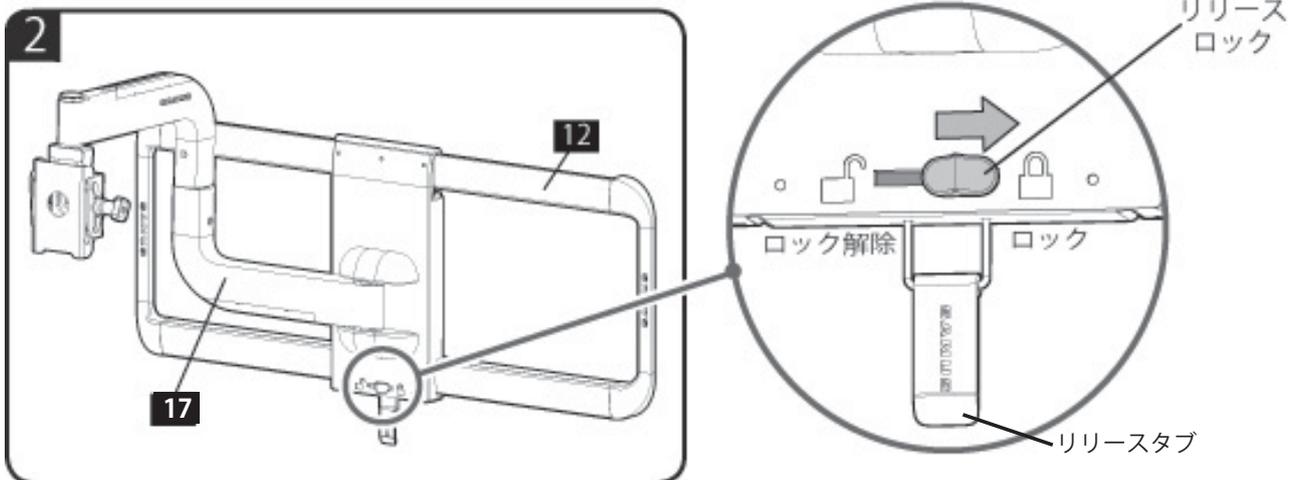


1. アームアッセンブリー [17] を壁掛金具 [12] の上部に、図の様に引っかけます。

**注記：**アームアッセンブリー [17] は、壁掛金具 [12] に沿って好みの位置にスライド出来ます。

テレビを左右にスライドして壁面の所定の位置に置きます。テレビの底面を壁面に向けて押し付けると、安全用留め金が所定の位置でテレビをロックします。正しくロックすれば「カチッ」という音がします。

2. リリースロックを右側いっぱい寄せてロック状態にし、リリースタブで解除できないようにします。



**警告：**リリースロックを掛けてアームアッセンブリー [17] が外れないように固定しておかないと地震等の振動でロックが外れてテレビが脱落する危険があるので、ご注意ください。

### 3-2 テレビをアームアッセンブリーに取付ける



**注意：**この作業は重量物を取り扱うので、二人以上で行って下さい。

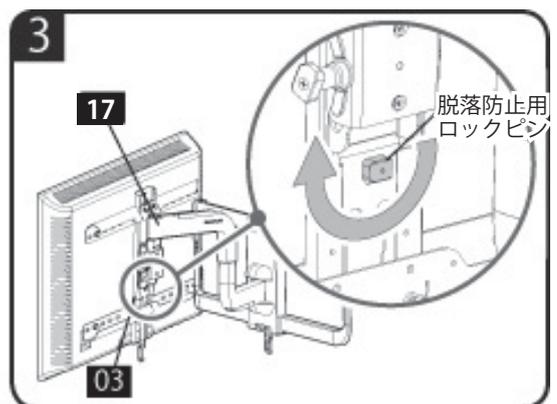
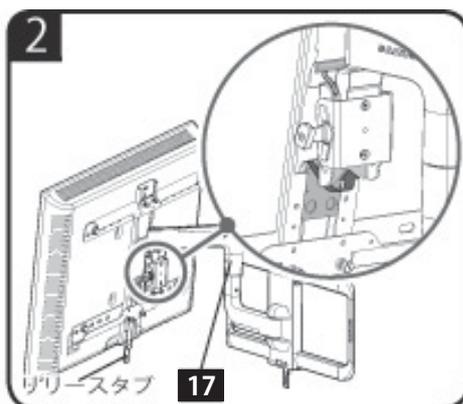
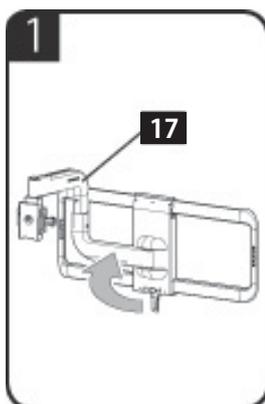
1. アームアッセンブリー [17] の矢印の部分を図のように壁側に押し当てます。

2. まず、縦型 TV ブラケット [03] の上側をアームアッセンブリー [17] の支持部に掛けます。次に、縦型 TV ブラケット [03] のリリースタブを引きながら下側のロック部分をしっかりと掛けロックします。

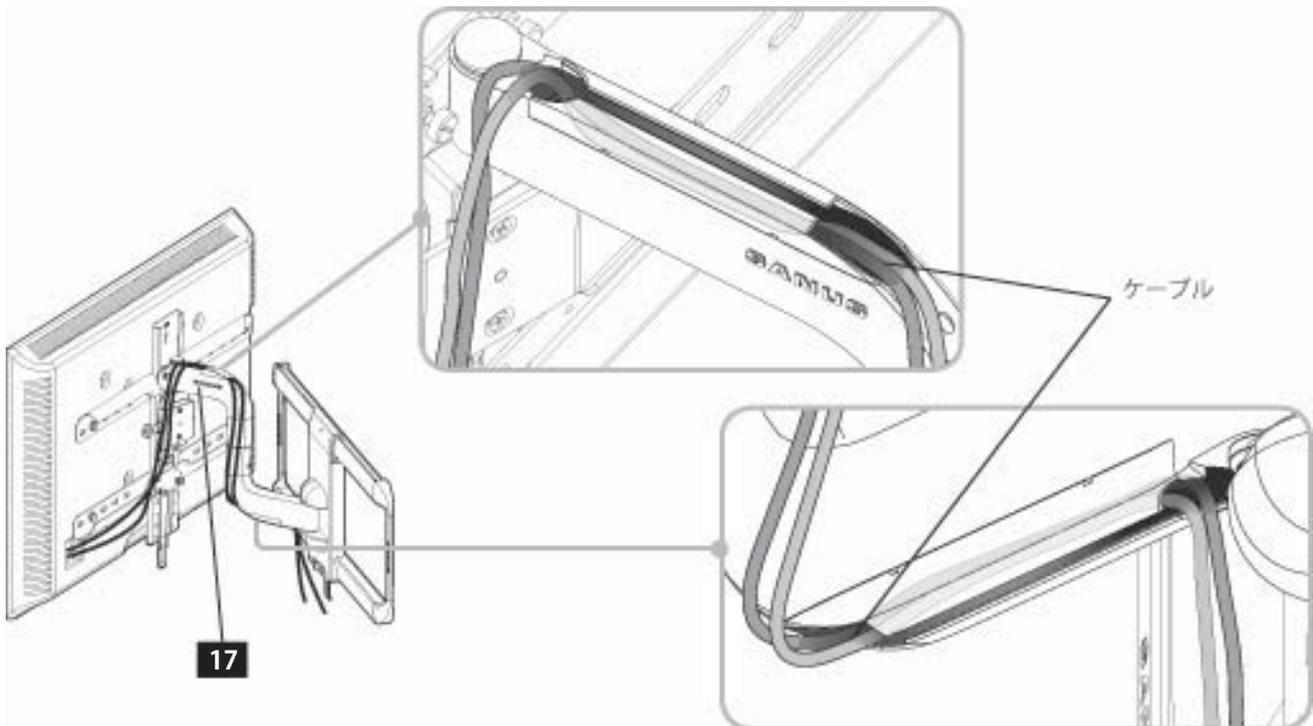
**注記：**縦型 TV ブラケット [03] のリリースタブが上手く引けないときは脱落防止用ロックピンが解除されている事をご確認ください。

3. 脱落防止用ロックピンを締め付けて縦型 TV ブラケット [03] を外れないように固定します。

**警告：**脱落防止用ロックピンを締め付けて縦型 TV ブラケット [03] を外れないように固定しておかないと地震等の振動でロックが外れて TV が脱落する危険があるので、ご注意ください。



## ケーブルの整理



1. アームアセンブリー [17] の各アームを一直線上に伸ばします。
2. アーム部の上面及び下面に取り付けてあるケーブルガイドの中にケーブルを押し込むように収納します。

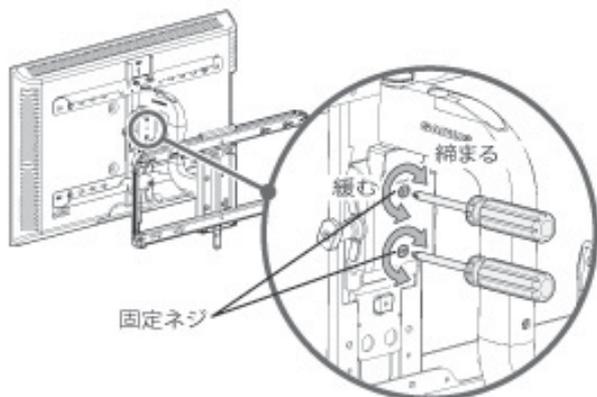
## 角度調整など

### 水平度調整



±3°までの調整可能

テレビに水準器をあてがい、下図のように、2箇所の固定ネジを緩めて水平度の調整を行います。調整後は、再度固定ネジを締め付けてください。

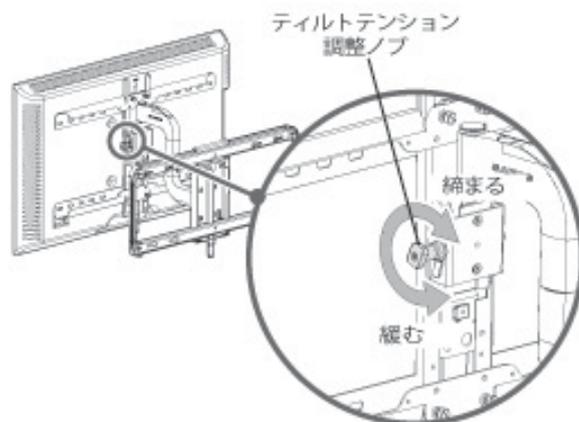


### ティルト調整



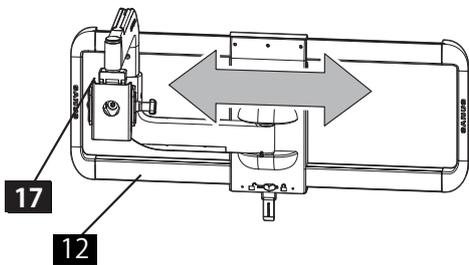
俯角0°～15°までの調整可能

テレビの上端と下端を持ち、合わせたい角度に調節してください。このとき硬く動かないときは、ティルトテンション調節ノブを緩めて丁度良い硬さに調整してください。



### 横方向移動

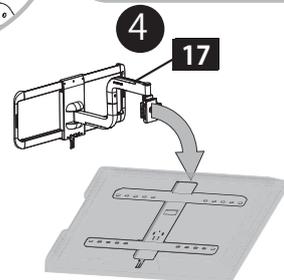
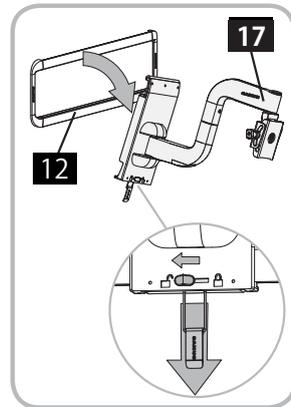
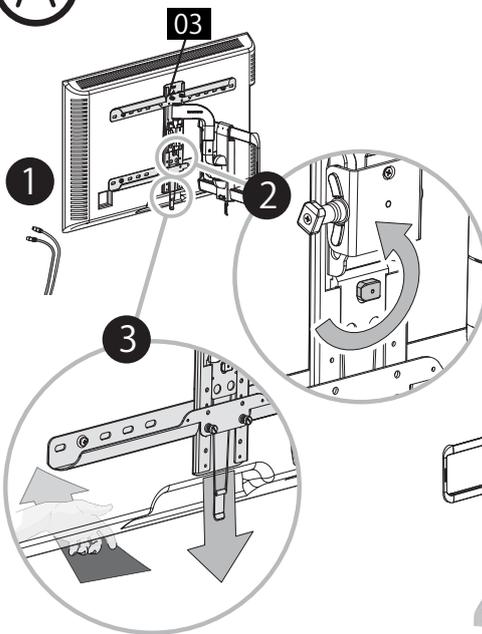
テレビを横方向に移動したいときは、下図のように壁掛金具 [12] に沿ってアームアッセンブリー [16] をスライドさせることにより軽い力で移動できます。



### テレビの取り外し



注意：この作業は重量物を取り扱うので二人以上で行って下さい。



# 外觀圖

單位：mm

